

財政健全化計画における主な取り組み状況（平成15年度～）



財政健全化のために取り組んでいる施策について見てみよう。

①人件費の抑制

- 人員の削減 →退職者不補充など △55人
- 市長など特別職の給料の削減 →給与・期末手当・退職手当カット
- 職員の基本給の削減 →基本給独自カット
- 各種手当の見直し・カット →支給率や単価の引き下げなど

まずは経費の削減だね。



②内部管理経費の削減

- 旅費の見直し・削減
- 需用費・役務費の削減
- 庁舎など維持管理費の削減
- 病院事業や水道事業への繰出金・補助金の見直し

③施策の見直し

- 事務事業評価の手法見直し
- 公共工事コスト削減の推進
- 入札制度の見直し
- 民間委託の推進
- 新規事業の見直し・中止

④市債借入額などの抑制

- 市債借入額上限の引き下げ
- ハード事業単年度一般財源の上限引き下げ

年間の借金額を減らしたり、一回あたりの買い物の額を制限したんだ。



職員の意識改革と情報の公開が重要だね。

⑤収入の確保

- 滞納繰越分の収納率の向上
- 公金運用の効率化
- 公有地の積極的な売却



⑥その他

- 予算編成手法の改革・各部署枠配分方式の導入
- 予算編成研修の徹底
- 職員への財政状況の説明
- 市民への財政情報の公開
- 地方財政の充実・強化の要望

平成15年度から始まった財政健全化計画では、毎年ローリング方式による見直しを行いながら、継続的な改善の取り組みを行っています。

平成18年度以降の目標

経常収支比率	85.0%未満
公債費比率	15.0%未満

今後の笠岡市の財政は…
国の財政の悪化により、地方交付税などの地方への財政支援はますます縮小されていくでしょう。歳入規模に見合った歳出をすることが重要です。また、基金や市債なども地方自治体として適正な額にしていかなければなりません。



少しずつ効果が出ていくことから、当面の財政破綻の心配はなくなっただけ。でも、とてもじゃないけど安心できる状態じゃないよ。もっとがんばらないといけないね。



財政健全化計画は、今年で3年目なんだね。今までで効果はあったのかな？



【公債費比率】
市債（市の借金）の返済にどれだけお金を使っているのかを示す指標です。比率が高まり、一定値を超えると市債の発行に制限がかかります。収入がローンの返済ばかりに取られては、ほかのことができなくなってしまうのと同じです。安全ラインは15%以下です。

【経常収支比率】
毎年決まって入る収入が、毎年決まってくる支出にどれだけ割かれているかを示す指標です。平成16年度が89.4%ということは、家計で言うところの毎月の給料の約90%が食費や家のローンなどの決まった支出に消えてしまう余裕のない生活です。70～85%が望ましいとされています。

の何年にも利用されるものの負担を後年度にも求め、年代間の負担の均衡を図る目的もあります。